

## 区議会だより(No. 303)の編集発行について

発行日(新聞折込日)・・・令和8年1月1日(元日)

### 編集内容

- ◆ 1 ページ及び8 ページ  
[タイトル:物価高騰対策関連補正予算などを可決―第4回定例会―]
  - 議長の年頭あいさつ
  - 議決内容
    - ・補正予算 1 件
    - ・条例の新設 1 件
    - ・条例の改正 17件
    - ・条例の廃止 1 件
    - ・工事請負契約の締結 2 件
    - ・工事請負契約の変更 2 件
    - ・財産の取得 1 件
    - ・指定管理者の指定 4 件
    - ・特別区道路線の認定 1 件
    - ・督促処分に係る審査請求に関する諮問 1 件
    - ・人権擁護委員候補者推薦の諮問 1 件
    - ・教育委員会教育長任命の同意 1 件
    - ・教育委員会委員任命の同意 1 件
    - ・議員提出議案 1 件
    - ・議員の懲罰 1 件
  - 請願
    - ・審議結果 1 件  
(採択 1 件)
    - ・新規付託 3 件
  - 決議 1 件
  - 要望書 1 件
  - 会派等の構成と名称の変更
  - 委員の辞任
  - 閉会中及び会期中の主な会議日程(議会日誌)
  - 問い合わせ先
- ◆ 2 ページ及び3 ページ
  - 会派等の年頭あいさつ
- ◆ 4 ページ及び5 ページの一部
  - 代表質問
- ◆ 5 ページの一部、6 ページ及び7 ページ
  - 一般質問

## 令和8年度区議会だより発行計画（案）

### 1. 区議会だより（紙面版）

- (1) 発行回数 5回（1定号、臨時会号、2定号、3定号、4定号）  
・タブロイド版、全号4色刷
- (2) 発行日 発行を決定した議会運営委員会から、概ね2週間後  
【参考】これまでの発行時期  
1定号＝4月下旬、1臨時号＝6月上旬、2定号＝7月下旬、  
3定号＝11月中旬、4定号＝1月1日
- (3) 発行部数 各号 162,900部
- |  |          |
|--|----------|
| ・新聞折込(朝日、産経、東京、日経、毎日、読売)                     | 144,200部 |
| ・広報スタンド(38駅)                                 | 2,500部   |
| ・送付を希望する新聞未購読者への戸別配付                         | 9,700部   |
| ・他議会、マスコミ、関係者などに郵送                           | 60部      |
| ・区内高校、区内大学、信用金庫、公衆浴場、<br>図書館、出張所、まちづくりセンターなど | 6,440部   |
- (4) その他 発行毎に自治体広報紙配信アプリ「マチイロ」に掲載する。

### 2. 声の区議会だより（音声版）

- (1) 発行回数 4回（臨時会は定例会と合併）
- (2) 発行部数 1回あたり、デイジー版 80セット  
CD版 75セット  
※セット数は利用者数に応じて変動する。
- (3) 配布先 個人郵送用（デイジー版62、CD版57）  
図書館16、区政情報センター1、議会図書室1

### 3. 点字版の区議会だより

- (1) 発行回数 4回（臨時会は定例会と合併）
- (2) 発行部数 各号 23部
- (3) 配布先 図書館16、区政情報センター1、区政情報コーナー4、  
議会図書室2

令和8年度区議会ホームページの運営計画（案）

1. ホームページ

掲載記事		公開時期	掲載期間など
議長あいさつ	議長あいさつ	就任時	任期中
区議会議員紹介	区議会議員紹介 議員または会派ホームページへの誘導ページ	改選後（修正は随時）	任期中
	正副議長		
	委員会別議員名簿		
	会派別議員名簿		
	議席表		
区議会のあらまし	区議会の役割としくみ 会議の進め方	常時掲載	常時掲載
区議会の活動	会議の日程	議運での年間予定確認後	毎年更新
	委員会審査予定案件	開催通知送信日	現年分と前年分
	区議会だより	「区議会だより」発行後	第1号から掲載
	声の区議会だより	「声の区議会だより」発行後	現年分と過去4年分
	年間統計数値	1月末	過去5年分
	議長交際費	毎月10日頃	現年度分と前年度分
	姉妹都市提携周年記念親善訪問等報告書	報告書発行後	新たな報告書が発行されるまで
	決議・意見書・要望書 議会制度研究会	「区議会だより」発行後 会議録調製後	現年分と過去4年分 9年4月末まで
定例会・臨時会の結果	定例会・臨時会の結果	「区議会だより」発行後	現年分と過去4年分
政務活動費	収支報告書、会計帳簿、領収書等	実績書類が揃い、公開準備が整い次第	前年度分および現年度4月分
条例・議案・委員会資料など	議会運営委員会資料	委員会開催日の5開庁日後	現年分と過去3年分
	懲罰特別委員会資料		
皆さんと区議会	請願・陳情	常時掲載	常時掲載
	これまでに付託された請願・陳情 傍聴について	委員会付託後	任期中
	区議会活動のおしらせ	常時掲載	常時掲載
	区議会へのアクセス		
議会中継	インターネット議会中継	常時掲載	4年間
	本会議のテキスト配信		同時配信中
会議録検索	本会議、予・決算特委	会議録調製後	平成元年から掲載
	常任委、議運、4特委	会議録調製後	平成14年4月から掲載
	会議録速報版	会議録速報版調製後	会議録が掲載されるまで
	ライブ配信テキスト（本会議）	本会議の翌開庁日	会議録速報版が掲載されるまで
※以下は速報性を重視し、適宜トップページに掲載する情報			
随時掲載するもの	本会議の審議予定案件及び審議結果等	告示日の翌々日	定例会・臨時会の結果掲載まで
	代表・一般質問予定表	質問締切日の翌々日	質問終了の日まで
	代表・一般質問項目		エフエム放送終了の日まで
	エフエム世田谷放送予定表	本会議初日の終了後	放送終了の日まで
	予算・決算特別委員会の審査日程	委員会設置日	補充質疑・採決終了の日まで
	決議・意見書	議決日	定例会・臨時会の結果掲載まで
	要望書	委員会決定日	定例会・臨時会の結果掲載まで

## 2. X(旧ツイッター)を活用した議会情報の発信

内容	発信時期
定例会・臨時会の会期	告示日
代表・一般質問、会派意見の議会中継	本会議初日、2日目、3日目、最終日(1・3定)
予算・決算特別委員会の日程	日程決定後
予算・決算特別委員会の議会中継	予算・決算特別委員会開催日(延べ7日間)
常任・特別委員会の議会中継(臨時開催除く)	常任委員会初日
区議会だよりの発行	区議会だよりの発行日(開庁日以外の場合は翌開庁日)

## 令和8年度議会中継等の放送計画（案）

### 1. インターネット中継

- (1) 事業内容 区議会ホームページにおいて会議の様態をライブ・録画で配信する。
- (2) 配信内容 本会議、常任・特別委員会（予算・決算含む）、議会運営委員会
- (3) 公開期間 ①速報版（休憩ごとに区切った映像）  
開催日の当日中～確定版が公開されるまでの間  
②確定版（本会議と予算・決算特別委員会は議員ごとに、その他の委員会は案件ごとに区切った映像）  
開催日の5開庁日後～4年間
- (4) その他 本会議のライブ配信時にテキスト配信を実施する。

### 2. エフエム世田谷による録音放送

- (1) 事業内容 定例会本会議の録音放送番組を制作し、エフエム世田谷において放送する。
- (2) 放送内容 ①代表・一般質問及び答弁  
②定例会本会議における区長招集あいさつ  
③区議会のPR及び各定例会の告知
- (3) 放送日時 ①・② 定例会の本会議初日の翌々日に放送を開始し、土曜日を除く下記の時間帯に連日放送する。
  - ・月曜日から金曜日 17時から19時頃まで
  - ・日曜日 19時から21時頃まで③ 上記、放送枠内 ほか

### 3. 庁舎等でのテレビ中継

- (1) 事業内容 区役所本庁舎や総合支所等において、会議の様態をテレビで放映する。
- (2) 放送内容 本会議及び予算・決算特別委員会
- (3) 放送場所
  - ・第2庁舎、東2期棟（調整中）
  - ・各総合支所

区議会だより No. 303  
議会広報小委員会 (案)

# 目 次

見出し等	8
議長の年頭あいさつ	11
議決内容	14
会派名等	26
年頭に当たって	27
自民	29
立無愛	33
公明	36
改革	39
共産	41
国都民	43
生ネ	44
虹	45
世田谷	46
刷新	47
国際	48
風	49
参政党	50
維新	51
無所属	52
代表質問	53
自民	54
立無愛	59
公明	62
F行革	67

共産	70
一般質問	73
自民	74
立無愛	88
公明	96
F行革	102
共産	106
国都民	110
生ネ	116
虹	120
世田谷	122
国際	124
風	126
参政党	128
維新	130
無所属	132
本文中で使用している省略表記	134
請願	135
決議	137
要望書	140
会派等の構成と名称の変更	141
委員の辞任	143
閉会中及び会期中の主な会議日程(議会日誌)	144
問い合わせ先	145



21	代表質問、一般質問の模様をホー
22	ムページで録画配信しています。
23	<b>世田谷区議会</b> <b>議会</b> <b>中継</b> <b>で</b> <b>検索</b> <b>！</b>
24	
25	次回の定例会は2月中旬から開催
26	する予定です
27	
28	本紙に掲載された質問、答弁など
29	の詳しい内容については、会議録
30	(2月中旬旬発行予定)をご覧ください
31	さい。なお、会議録は、区立図書
32	館、区政情報センター、総合支所、
33	出張所、まちづくりセンターに備
34	えてあります。また、ホームページ
35	ジでもご覧いただけます。
36	
37	第4回定例会の議決結果などはホ
38	ームページでもご覧いただけます。
39	ぜひ、ご利用ください。
40	



1	新	年	の	ご	あ	い	さ	つ													
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					
15																					
16																					
17																					
18																					
19																					
20																					

2 1		ま	い	り	ま	す	。													
2 2			6	年	度	決	算	で	は	、	区	は	引	き	続	き				
2 3		健	全	財	政	を	維	持	し	て	い	ま	す	。	し	か				
2 4		し	、	高	齢	社	会	の	進	展	に	伴	う	社	会	保				
2 5		障	関	連	経	費	に	加	え	、	学	校	改	築	を	は				
2 6		じ	め	と	し	た	公	共	施	設	整	備	な	ど	大	き				
2 7		な	財	政	支	出	が	見	込	ま	れ	る	と	も	に	、				
2 8		年	々	深	刻	化	す	る	ふ	る	さ	と	納	税	に	よ				
2 9		る	区	税	へ	の	影	響	に	よ	り	、	区	財	政	は				
3 0		予	断	を	許	さ	な	い	状	況	で	す	。	ま	た	、				
3 1		首	都	直	下	地	震	や	大	型	台	風	、	集	中	豪				
3 2		雨	に	備	え	た	災	害	対	策	の	強	化	、	自	治				
3 3		体	D	X	や	少	子	化	対	策	の	推	進	な	ど	も				
3 4		喫	緊	の	課	題	で	す	。											
3 5			世	田	谷	区	議	会	は	、	今	後	も	活	発	な				
3 6		議	論	を	重	ね	、	課	題	の	解	決	に	全	力	を				
3 7		尽	く	す	と	と	も	に	、	区	議	会	が	皆	様	に				
3 8		と	っ	て	よ	り	身	近	な	も	の	と	な	る	よ	う	、			
3 9		区	民	に	開	か	れ	た	信	頼	さ	れ	る	議	会	づ				
4 0		く	り	に	取	り	組	ん	で	ま	い	る	所	存	で	す	。			



1	物価高騰対策関連補正予算などを可決
2	第4回定例会
3	議決内容
4	議決した案件の概要をご紹介します
5	ます。今回の定例会には、区長か
6	ら34件、議員から1件の案件が提
7	出され、全て可決しました。また、
8	議員の懲罰動議についても審議し
9	ました。
10	※本紙に掲載する条例名は略称を
11	使用しています。
12	●7年度補正予算 1件
13	○一般会計（第四次）
14	賛成＝自民、立無愛、公明、共産、国民、生ネ、虹
15	賛成多数 世田谷、国際、風、参政党、維新、無所属
16	反対＝行革
17	子ども・子育て関連施設への物
18	価高騰対策の実施や民間空襲被
19	害者への見舞金の支給などに対
20	応するため、歳入歳出予算それ

21		ぞれに五億一九九五千円を
22		追加する。四次補正後の予算額
23		は四〇六三億三三八万七千円
24		となる。
25	●	条例の新設 1件
26	○	民間空襲等被害者見舞金支給条例
27		例
28		賛成  立無愛、公明、共産、国都民、生ネ、 虹、世田谷、国際、風、維新、無所属
29		賛成多数
30		反対  自民、F行革、参政党
31		民間空襲等被害者への見舞金の
32		支給要件などを定める。
33	●	条例の改正 17件
34	○	財政状況の公表条例
35		(全員賛成)
36		公表に係る告示について区ホー
37		ムページ上で行うことができる
38		よう規定を整備する。
39	○	公告式条例
40		(全員賛成)

4 1																			条	例	及	び	規	則	の	公	布	に	伴	う	区	長	
4 2																			の	署	名	に	つ	い	て	電	子	署	名	を	導	入	
4 3																			す	る	と	も	に	、	公	布	を	区	ホ	ー	ム		
4 4																			ペ	ー	ジ	上	で	行	う	こ	と	が	で	き	る	よ	
4 5																			う	規	定	を	整	備	す	る	こ	と	な	ど			
4 6																			○	行	政	手	続	条	例								
4 7																			（	全	員	賛	成	）									
4 8																			○	特	別	区	税	条	例								
4 9																			（	全	員	賛	成	）									
5 0																			○	後	期	高	齢	者	医	療	条	例					
5 1																			（	全	員	賛	成	）									
5 2																				以	上	3	件	は	、	公	示	送	達	を	区	ホ	ー
5 3																			ム	ペ	ー	ジ	上	で	行	う	こ	と	が	で	き	る	
5 4																			よ	う	規	定	を	整	備	す	る						
5 5																			○	手	数	料	条	例									
5 6																			（	全	員	賛	成	）									
5 7																			区	施	設	や	コ	ン	ピ	ニ	の	多	機	能	端	末	
5 8																			機	に	よ	る	証	明	書	交	付	に	係	る	手	数	
5 9																			料	を	8	年	2	月	1	日	か	ら	5	月	3 1	日	
6 0																			ま	で	の	間	、	一	部	減	額	す	る	こ	と	な	



81				数	を	改	定	す	る	こ	と	な	ど		
82			○	職	員	の	勤	務	時	間	、	休	日	、	休
83				例											
84			(	全	員	賛	成	)							
85			○	幼	稚	園	教	育	職	員	の	勤	務	時	間
86				日	、	休	暇	条	例						
87			(	全	員	賛	成	)							
88				以	上	2	件	は	、	妊	娠	初	期	休	暇
89				得	事	由	や	申	請	可	能	期	間	を	拡
90				る	こ	と	な	ど							
91			○	学	童	ク	ラ	ブ	条	例					
92			(	全	員	賛	成	)							
93				瀬	田	小	新	B <sub>ポ</sub>	O <sub>ッ</sub>	P <sub>ッ</sub>	学	童	ク	ラ	ブ
94				動	場	所	を	瀬	田	2		1	5		1
95				す	る										
96			○	区	長	等	の	給	料	条	例				
97															
98			賛	成	多	数									
99															
100			○	監	査	委	員	の	給	与	条	例			

反対⇨F行革、共産、生ネ、風

賛成⇨世田谷、国際、参政党、維新、無所属

賛成⇨自民、立無愛、公明、国都民、虹、

101					賛成  自民、立無愛、公明、国都民、虹、	
102		賛成多数			世田谷、国際、参政党、維新、無所属	
103				反対  F行革、共産、生ネ、風		
104		○教育長の給与・勤務時間条例				
105				賛成  自民、立無愛、公明、国都民、虹、		
106		賛成多数			世田谷、国際、参政党、維新、無所属	
107				反対  F行革、共産、生ネ、風		
108		○区議の報酬・費用弁償条例				
109				賛成  自民、立無愛、公明、虹、世田谷、		
110		賛成多数			国際、参政党、無所属	
111				反対  F行革、共産、国都民、生ネ、風、維新		
112		以上4件は、				
113		数を改定することなど。				
114		●条例の廃止				1件
115		○学校給食費会計条例				
116		(全員賛成)				
117		学校給食費の無償化に伴い、特				
118		別会計として学校給食費に係る				
119		収支を管理する必要がなくなっ				
120		たため廃止する。				

1 2 1		●	工	事	請	負	契	約	の	締	結						2	件
1 2 2		○	弦	卷	中	改	築	等	機	械	設	備	工	事				
1 2 3		(	全	員	賛	成	)											
1 2 4			相	手	方		温	調	・	大	曾	根	建	設	共	同		
1 2 5							企	業	体									
1 2 6			契	約	金	額		六	億	四	七	九	〇	万	円			
1 2 7			工	期		1 1	年	2	月	2 8	日							
1 2 8		○	世	田	谷	文	化	生	活	情	報	セ	ン	タ	丨	改		
1 2 9			修	機	械	設	備	工	事									
1 3 0		(	全	員	賛	成	)											
1 3 1			相	手	方		高	砂	熱	学	工	業	株	式	会	社		
1 3 2							東	京	本	店								
1 3 3			契	約	金	額		八	億	四	九	二	〇	万	円			
1 3 4			工	期		9	年	3	月	1 7	日							
1 3 5		●	工	事	請	負	契	約	の	変	更					2	件	
1 3 6		○	旧	保	健	セ	ン	タ	丨	解	体	工	事					
1 3 7		(	全	員	賛	成	)											
1 3 8			地	中	障	害	物	の	発	見	に	伴	う	撤	去	工		
1 3 9			事	の	実	施	及	び	公	共	工	事	設	計	労	務		
1 4 0			単	価	に	係	る	特	例	措	置	の	適	用	に	よ		

141				り、工期を10年3月31日に変更				
142				するともに、契約金額を一三				
143				億五六七一万八千円に変更する。				
144		○	玉川野毛町公園第2期拡張工事					
145		（	全員賛成）					
146			同敷地内の拠点施設他新築工事					
147			の工期延伸に伴い、外構工事も					
148			延伸する必要が生じたため、工					
149			期を8年7月1日に変更する。					
150		●	財産の取得				1	件
151		○	電動式移動棚					
152		（	全員賛成）					
153			相手方株式会社ヤナギ					
154			設置施設 Ⅱ 区役所西棟地下1階					
155			購入機器 Ⅱ 電動式移動棚	59	台			
156			契約金額 Ⅱ 二億一〇万円					
157		●	指定管理者の指定				4	件
158		○	知的障害者生活寮					
159		（	全員賛成）					
160			施設名称			指定管理者		

161		松原けやき寮	社会福祉法人						
162			せたがや檜の木会						
163		○身体障害者自立体験ホーム							
164		(全員賛成)							
165		施設名称	指定管理者						
166		身体障害者自立体験	特定非営利活動						
167		ホームなかまっち	法人つどい						
168		○障害者福祉施設							
169		(全員賛成)							
170		施設名称	指定管理者						
171		ほほえみ経堂	労働者協同組合ワ						
172			センター事業団						
173		すまいる梅丘							
174		三宿つくしんぼ	社会福祉法人全国						
175		ホーム	重症心身障害児						
176			(者)を守る会						
177		岡本福祉作業ホーム							
178		岡本福祉作業ホ	社会福祉法人泉会						
179		ム玉堤分場							
180		梅丘ウッドペツ	特定非営利活動法人						

1 8 1									カ	ー	の	森					ウ	ツ	ド	ペ	ッ	カ	ー	の	森	
1 8 2				○	自	転	車	等	駐	車	場															
1 8 3				(	全	員	賛	成	)																	
1 8 4				施	設	名	称				指	定	管	理	者											
1 8 5				駒	沢	自	転	車	等	駐		世	田	谷	区	シ	ル	バ								
1 8 6				車	場	ほ	か	5	3	施	設	人	材	セ	ン	タ	ー	・	N							
1 8 7											C	D	共	同	企	業	体									
1 8 8				●	特	別	区	道	路	線	の	認	定				1	件								
1 8 9				(	全	員	賛	成	)																	
1 9 0							所	在	地				延	長	(	m	)									
1 9 1				桜	上	水	3		1	3				5	4	・	3	3								
1 9 2				●	督	促	処	分	に	係	る	審	査	請	求	に	関	す								
1 9 3				る	諮	問										1	件									
1 9 4				(	全	員	賛	成	)																	
1 9 5				生	活	保	護	費	の	返	還	に	係	る	督	促	処									
1 9 6				分	に	対	し	て	取	消	し	な	ど	を	求	め	る									
1 9 7				審	査	請	求	を	棄	却	す	る	裁	決	を	可	と									
1 9 8				す	る	。																				
1 9 9				●	人	権	擁	護	委	員	候	補	者	推	薦	の	諮	問	1	件						
2 0 0				(	全	員	賛	成	)																	

201		小島和子氏、林一仁氏、山澤由
202		美子氏を候補者として法務大臣
203		あてに推薦すること可とする。
204	●	教育委員会教育長任命の同意 1件
205		(全員賛成)
206		知久孝之氏(再任)
207	●	教育委員会委員任命の同意 1件
208		(全員賛成)
209		膳場美帆氏(新任)
210	●	議員提出議案 1件
211	○	羽田圭一副議長に対する不信任決議
212		賛成  自民、公明、F行革、参政党、維新
213		賛成多数 反対  立無愛、共産、国都民、生ネ、虹、
214		世田谷、国際、風、無所属
215		― 決議の内容は以下のとおり ―
216	●	議員の懲罰 1件
217		7年第三回定例会で継続審議と
218		なっていた、決算運営委員会で
219		の発言に対する懲罰動議につい
220		て審議した結果、懲罰を科さな

い  
も  
の  
と  
決  
定  
し  
た  
。

1	会派名等																				
2	自民	自由民主党	世田谷区議団																		
3	立無愛	立憲民主党・無所属・愛世田谷区議団																			
4	公明	公明党	世田谷区議団																		
5	F行革	無所属・世田谷行革																			
6	共産	日本共産党	世田谷区議団																		
7	国民	国民民主党・都民ファーストの会																			
8	生ネ	生活者ネットワーク	世田谷区議団																		
9	虹	レインボー	世田谷																		
10	世田	世田谷無所属																			
11	国際	国際都市せたがや																			
12	風	せたがやの風																			
13	参政	参政党																			
14	維新	新日本維新の会																			
15	無所	無所属																			

明けましておめでとうございます

[令和8年（2026年）年頭に当たって] 議員の連絡先は令和7年12月23日現在

**(自由民主党世田谷区議団)**

阿久津 皇	157-0073	砧6-37-2-203	080-3464-2911
石川 ナオミ	156-0056	八幡山3-23-26-102	5942-1285
加藤 たいき	154-0017	世田谷1-28-13-202	6674-2391
くろだ あいこ	157-0067	喜多見8-19-1-201	050-3635-9615
河野 俊弘	154-0023	若林1-16-1	6805-4054
坂口 賢一	154-0015	桜新町1-11-4	3429-4581
佐藤 正幸	157-0066	成城6-9-7	6317-5740
宍戸 三郎	156-0043	松原3-42-2-4F	3323-7223
下山 芳男	154-0011	上馬4-2-5	3418-2869
畠山 晋一	156-0041	大原1-16-3-112	090-1619-3320
真鍋 よしゆき	157-0063	粕谷4-20-18-206	3300-3940
山口 ひろひさ	158-0082	等々力5-4-2-602	3702-1819
和田 ひでとし	158-0083	奥沢1-40-2	3720-3542

**(立憲民主党・無所属・愛世田谷区議団)**

オルズグル	(準備中)		070-8817-4400
桜井 純子	157-0062	南鳥山6-8-7 楽多ビル3C	3326-1321
中塚 さちよ	156-0054	桜丘2-24-13-101	3429-6078
中山 みずほ	154-0015	桜新町1-25-25	080-4634-2547
羽田 圭二	158-0092	野毛3-6-22	3702-3550
原田 竜馬	155-0031	北沢3-27-4 立木ビル2F	090-4619-0989
藤井 まな	154-0012	駒沢2-12-1	080-1085-3624
みや かおり	157-0062	南鳥山5-26-1 1F	070-2636-5022

**(公明党世田谷区議団)**

いたい ひとし	158-0087	玉堤1-16-28	090-3964-1419
岡本 のぶ子	156-0054	桜丘4-25-17-210	3427-0557
河村 みどり	157-0061	北鳥山8-2-16-104	3307-4884
佐藤 ひろと	157-0071	千歳台3-21-14	080-5012-0479
高橋 昭彦	156-0044	赤堤2-30-12	3327-0443
津上 仁志	154-0024	三軒茶屋2-28-11	5787-6162
平塚 けいじ	154-0022	梅丘2-8-9	3420-0240
福田 たえ美	158-0094	玉川3-21-3-401	5797-9825

**(改革無所属の会)**

大庭 正明	157-0063	粕谷3-15-3	3307-1179
田中 優子	156-0043	松原4-34-20-309	3322-8131
ひえしま 進	156-0055	船橋5-14-7	080-4806-9024
桃野 芳文	157-0066	成城4-33-2-202	6751-1781

**(日本共産党世田谷区議団)**

川上 こういち	158-0082	等々力2-5-11-102	090-8562-6989
坂本 みえこ	154-0004	太子堂4-5-2	090-1762-1417
たかじょう 訓子	157-0062	南鳥山6-34-16	090-6655-2003
中里 光夫	155-0033	代田4-33-1	090-4367-3294

**(国民民主党・都民ファーストの会)**

石原 せいじ	154-0017	世田谷1-29-14	070-8538-8242
佐藤 美樹	156-0045	桜上水4-18-25	6379-8300
そのべ せいや	158-0097	用賀3-25-18	090-6939-7273

**(生活者ネットワーク世田谷区議団)**

おのみずき	154-0017	世田谷1-12-14 原ビル2階	3420-0737
関口 江利子	154-0017	世田谷1-12-14 原ビル2階	3420-0737

**(レインボー世田谷)**

上川 あや	156-0051	宮坂2-26-24-203	5799-7765
-------	----------	---------------	-----------

**(世田谷無所属)**

ひうち 優子	155-0033	代田3-26-6-305	6691-4985
--------	----------	--------------	-----------

**(世田谷刷新の会)**

おぎの けんじ	158-0093	上野毛4-13-11	090-4599-8946
---------	----------	------------	---------------

**(国際都市せたがや)**

神尾 りさ	154-0003	野沢2-8-1	3418-4648
-------	----------	---------	-----------

**(せたがやの風)**

つるみ けんご	154-0003	野沢4-14-4	6322-0575
---------	----------	----------	-----------

**(参政党)**

岡川 大記	158-0092	野毛1-3-15	080-3762-9187
-------	----------	----------	---------------

**(日本維新の会)**

若林 りさ	154-0004	太子堂2-17-5 佐藤ビル3階	070-9086-6513
-------	----------	------------------	---------------

**(無所属)**

青空 こうじ	156-0041	大原1-39-1	3485-2726
--------	----------	----------	-----------

1	自由民主党世田谷区議団
2	
3	
4	
5	明けましておめでとうございま
6	す。
7	我々、自由民主党世田谷区議団
8	は物価高をはじめ、激甚化する災
9	害や急激な気候変動から皆様の生
10	活を守るにとともに、安全安心で魅
11	力あふれる街、世田谷の実現に向
12	けて以下の取り組みを積極的に進
13	めてまいります。
14	●物価高や資源高騰への対応を更
15	に強化し、皆様の生活をお守りす
16	るとともに、区政改革を進めます。
17	①区民生活の支援強化（せたがや
18	P a y による対策をはじめ、物
19	価高騰から暮らしを守ります。
20	②地域経済の活性化（区内事業者

21	への経営支援、区内における起
22	業・創業支援策を拡充します。
23	③ 就労支援・就業環境向上（学び
24	直しを応援するとともに、職住
25	近接が可能な環境をつくりま
26	④ 地域活動の推進（支えあい助
27	あえる地域の絆をつくりま
28	⑤ 行政サービスのDX推進（各
29	手続きのオンライン化等、非
30	庁型行政を早期に実現しま
31	● 生涯を通じたニーズにきめ
32	く対応し、健やかに生活でき
33	境を整備します。
34	① スポーツ・文化の推進（ス
35	ツの場の拡充、音楽や演劇等
36	文化活動を充実させます。
37	② 健康・長寿の推進（23区
38	の健康長寿を目標すとも
39	高齢になっても安心して住
40	けられる環境を整備します。

41		③	若	年	層	を	応	援	(	可	処	分	所	得	を	高
42			め	、	単	身	で	も	結	婚	後	も	住	み	続	け
43			ら	れ	る	世	田	谷	を	目	指	し	ま	す	。	
44		④	妊	娠	・	出	産	・	育	児	支	援	(	妊	活	支
45			援	・	一	時	預	り	事	業	の	拡	充	等	、	産
46			前	産	後	の	ト	ー	タ	ル	な	子	育	て	支	援
47			を	推	進	し	ま	す	。							
48		⑤	障	が	い	児	・	障	が	い	者	施	策	の	推	進
49			(	個	人	の	特	性	に	応	じ	た	支	援	の	充
50			実	に	努	め	ま	す	。							
51		●	生	活	を	支	え	る	都	市	基	盤	の	整	備	や
52			安	全	・	安	心	な	街	づ	く	り	を	進	め	ま
53		①	都	市	基	盤	整	備	の	推	進	(	狭	隘	道	路
54			・	開	か	ず	の	踏	切	解	消	な	ど	、	「	世
55			谷	の	弱	点	」	を	克	服	し	ま	す	。		
56		②	防	犯	・	交	通	安	全	対	策	の	強	化	(	特
57			殊	詐	欺	な	ど	凶	悪	化	す	る	犯	罪	や	交
58			通	事	故	か	ら	皆	様	を	守	り	ま	す	。	
59		③	災	害	対	策	の	強	化	(	首	都	直	下	地	震
60			や	ゲ	リ	ラ	豪	雨	に	対	し	、	イ	ン	フ	ラ



1	立憲民主党・無所属・愛世田谷区議団
2	
3	
4	
5	新年あけましておめでとうござ
6	います。
7	昨年は国際情勢の不安定化や歴
8	史的な物価高騰が区民生活を直撃
9	し、未来への不安が広がっています
10	す。特に現役世代の皆様の生活は
11	厳しさを増しており、不安を安心
12	へと変える政治の責任が問われて
13	います。こうした状況だからこそ、
14	私たちが会派は「未来への投資」と
15	して現役世代への支援を最優先の
16	課題とし、「誰一人取り残さない」
17	世田谷の実現を目指します。
18	【重点施策】
19	①物価高対策の強化…家計負担を
20	軽減し、地域経済を支えるきめ細

21	や	かな	区	独	自	策	を	求	め	ま	す										
22	②	住	宅	政	策	の	推	進	…	子	育	て	世	帯	や						
23	若	者	が	区	内	に	住	み	続	け	ら	れ	る	よ	う	、					
24	良	質	な	公	的	住	宅	の	整	備	や	家	賃	負	担						
25	の	軽	減	策	を	強	力	に	推	進	し	ま	す	。							
26	③	交	通	政	策	の	推	進	…	区	内	ど	こ	で	も						
27	安	心	・	安	全	に	移	動	で	き	る	交	通	ネ	ッ						
28	ト	ワ	ー	ク	の	整	備	と	、	持	続	可	能	な	公						
29	共	交	通	の	維	持	・	強	化	に	努	め	ま	す	。						
30	④	子	育	て	・	教	育	環	境	の	充	実	…	教	育						
31	の	質	の	向	上	と	多	様	な	学	び	の	保	障	を						
32	軸	に	、	す	べ	て	の	子	ど	も	た	ち	を	育	む						
33	切	れ	目	の	な	い	支	援	に	取	り	組	み	ま	す	。					
34	⑤	高	齢	者	福	祉	の	充	実	…	誰	も	が	健	康						
35	で	生	き	が	い	を	持	っ	て	暮	ら	せ	る	よ	う	、					
36	地	域	包	括	ケ	ア	シ	ス	テ	ム	の	強	化	と	生						
37	活	支	援	を	推	進	し	ま	す	。											
38	区	民	の	皆	様	の	声	に	真	摯	に	耳	を	傾							
39	け	、	そ	の	想	い	を	区	政	に	反	映	さ	せ	、						
40	区	民	目	線	の	政	治	を	実	現	す	べ	く	、	全						

4 1

4 2

4 3

4 4

4 5

力で取り組んでまいります。

本年が、皆様にとって希望に満

ちた素晴らしい一年となりますよ

う心からお祈り申し上げます、年頭の

ご挨拶といたします。

1	公明党世田谷区議団
2	
3	
4	
5	新春を迎え、皆さまのご健康と
6	ご多幸を心よりお祈り申し上げま
7	す。
8	公明党は「大衆とともに」の
9	立党精神を原点に、クリーンな政
10	治の実現と、平和・福祉・教育を
11	柱に、国政において野党として新
12	出発いたしました。
13	特に、若者・現役世代の「将来
14	への安心」に向けて総合的な対策
15	として、ジャパンフアンドの創設、
16	奨学金減税等に取組みます。
17	喫緊の区政課題として、以下5
18	項目に取組みます。
19	①物価高騰対策として、年度末に
20	向けて「せたがやP&Y」のポイ

21	ン	ト	還	元	事	業	の	拡	充	と	東	京	ア	プ	リ
22	の	ポ	イ	ン	ト	付	与	事	業	の	連	携	を	推	進
23	し	ま	す	。	社	会	を	支	え	る	事	業	者	へ	の
24	支	援	を	拡	充	し	ま	す	。						
25	②	現	役	世	代	の	負	担	軽	減	へ	、	子	育	て
26	世	帯	や	単	身	者	、	夫	婦	の	み	世	帯	な	ど
27	を	対	象	と	し	た	賃	貸	物	件	へ	の	転	居	や
28	分	譲	物	件	の	購	入	に	対	す	る	助	成	制	度
29	の	創	設	を	実	現	し	ま	す	。					
30	③	予	防	医	療	を	推	進	し	、	が	ん	検	診	受
31	診	率	向	上	と	早	期	発	見	へ	個	別	勸	奨	の
32	推	進	と	、	検	診	受	診	の	イ	ン	セ	ン	テ	イ
33	ブ	と	し	て	、	せ	た	が	や	P	a	y	イ	「	ポ
34	ン	ト	の	付	与	を	実	現	し	ま	す	。			
35	④	誰	も	が	尊	厳	あ	る	人	生	を	安	心	し	て
36	送	れ	る	よ	う	、	登	録	事	業	を	備	え	た	高
37	齢	者	に	寄	り	添	う	「	(	仮	称	)	終	活	支
38	セ	ン	タ	ー	「	の	設	置	を	推	進	し	ま	す	。
39	⑤	気	候	変	動	に	伴	う	ゲ	リ	ラ	豪	雨	に	よ
40	る	浸	水	被	害	対	策	と	、	温	暖	化	対	策	に



1	改革無所属の会
2	
3	
4	
5	迎春。会派名を変更しました。
6	これからもあくなき改革魂で区議
7	会をリードしてまいります（8面
8	参照）。工事着工以来59年経っても
9	つながらない恵泉通り、老朽化し
10	ても建て替えが進まない小中学校
11	に象徴されるように区政は停滞し
12	ています。区役所では区民が窓口
13	で支払った税金や金庫の中に入っ
14	ていた生活保護費がなくなったり、
15	区長室に掲げてあった歴代区長の
16	肖像画が全て行方不明になったり
17	と信じがたい事件も相次いでいま
18	す。区長の自宅建築に関する疑惑
19	も引き続きの追及が必要です。我
20	々は保坂区政を厳しくチェックし、



1																		日本共産党世田谷区議団
2																		
3																		
4																		
5																		新年おめでとうございます。
6																		今年こそ世界が平和であるよう、
7																		地域から声をあげていきましよう。
8																		日本共産党は、憲法9条を守り、
9																		核兵器のない平和な世界のために
10																		力を尽くします。
11																		物価高騰が暮らしを直撃し、貧
12																		困と格差が広がっています。賃上
13																		げと消費税減税、区民の暮らしと
14																		営業を守ること、医療や介護の崩
15																		壊を防ぎ、社会保障や教育、子育
16																		て支援の充実が求められます。
17																		国籍や性別による差別に反対し
18																		ます。高齢者と若者など世代間の
19																		対立を煽るのではなく、人権を尊
20																		重する共生社会をめざしましよ



1		国	民	民	主	党	・	都	民	フ	ア	ー	ス	ト	の	会		
2																		
3																		
4																		
5		新	年	お	め	で	と	う	ご	ざ	い	ま	す	。	新	た		
6		な	多	党	化	時	代	へ	の	突	入	と	い	わ	れ	る		
7		よ	う	に	社	会	変	容	や	情	報	化	の	加	速	に		
8		よ	り	社	会	が	大	き	く	変	化	を	す	る	中	、		
9		私	た	ち	会	派	は	、	本	年	も	現	役	世	代	・		
10		子	育	て	世	帯	を	最	優	先	に	、	区	政	の	ア		
11		ッ	プ	デ	ー	ト	を	進	め	て	参	り	ま	す	。	現		
12		役	世	代	の	負	担	軽	減	と	D	X	推	進	・	効		
13		率	化	、	次	世	代	へ	の	徹	底	的	投	資	、	こ		
14		ど	も	ま	ん	な	か	政	策	に	加	え	、	深	刻	化		
15		す	る	気	候	変	動	に	対	応	す	る	持	続	可	能		
16		な	地	域	社	会	―	世	田	谷	の	構	築	に	向	け		
17		た	脱	炭	素	の	取	組	や	、	グ	リ	ー	ン	イ	ン		
18		フ	ラ	の	拡	充	、	農	地	保	全	、	地	産	地	消		
19		の	拡	充	に	向	け	、	皆	様	の	お	声	を	聴	き		
20		な	が	ら	政	策	提	案	・	実	現	を	進	め	ま	す	。	

1		生	活	者	ネ	ッ	ト	ワ	ー	ク	世	田	谷	区	議	団
2																
3																
4																
5		謹	賀	新	年	。	戦	後	80	年	の	節	目	を	迎	え
6		た	昨	年	は	、	区	内	外	で	様	々	な	形	で	平
7		和	を	考	え	る	機	会	が	設	け	ら	れ	た	一	方
8		社	会	全	体	で	格	差	や	分	断	、	不	安	や	憎
9		悪	が	か	つ	て	な	い	ほ	ど	深	刻	化	し	ま	し
10		た	。	ジ	ェ	ン	ダ	ー	平	等	や	多	文	化	共	生
11		等	の	人	権	施	策	を	一	層	推	進	し	、	自	分
12		と	異	な	る	他	者	へ	の	怒	り	や	恐	怖	を	越
13		え	た	、	真	の	対	話	を	基	軸	に	し	た	生	活
14		者	主	体	の	ま	ち	づ	く	り	を	区	民	の	皆	さ
15		ま	と	と	も	に	進	め	て	ま	い	り	ま	す	。	



1 世田谷無所属

2 謹賀新年  
自転車  
の安全  
利用・  
ゲ

3 リラ豪雨  
対策・  
図書館  
・高齢  
者施

4 策・保育  
・教育  
等、本  
年も  
区民  
の

5 皆様の  
立場に  
立ち、  
多くの  
方の  
声

6 を区政に  
反映さ  
せてま  
いに  
ります  
。

7 本年も  
よろし  
くお願  
いいた  
します  
。

世田谷刷新の会

迎春。新しい会派を立ち上げまし

た。区民の生命と財産と生活を守

るための政策の推進、地域課題の

解決に全力を尽くしつつ、失政が

続く保坂区政の刷新に向け、建設

的な議論を進めてまいります。





1

参  
政  
党

2

3

4

5

謹  
賀  
新  
年  
。  
今  
年  
も  
繋  
ぐ  
を  
テ  
ー  
マ  
に  
、

6

①  
世  
代  
を  
超  
え  
て  
教  
育  
で  
地  
域  
を  
繋  
ぐ  
。

7

②  
次  
世  
代  
に  
素  
晴  
ら  
し  
い  
日  
本  
を  
繋  
ぐ  
。

8

③  
正  
し  
い  
情  
報  
で  
区  
民  
と  
行  
政  
を  
繋  
ぐ  
。

9

皆  
様  
が  
希  
望  
を  
持  
っ  
て  
生  
き  
て  
い  
け  
る

10

街  
づ  
く  
り  
に  
取  
り  
組  
ん  
で  
ま  
い  
り  
ま  
す  
。

日 本 維 新 の 会

新 春 を 迎 え 、 皆 様 の ご 健 康 と ご 多

幸 を お 祈 り 申 し 上 げ ま す 。 次 世 代

へ の 投 資 や 動 物 福 祉 を 進 め 子 ど も

か ら 大 人 ま で 誰 も が 輝 く 世 田 谷 を

目 指 し 安 心 し て 暮 ら せ る 未 来 へ の

希 望 を 育 む 街 づ く り に 努 め ま す 。

																					無所属	

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10



1		自由民主党世田谷区議団
2		真鍋よしゆき
3		
4		
5		恵泉通りの土地占有者との交渉
6		質問 さきの決算委員会で区長は、
7		恵泉通りの土地占有者との明渡し
8		交渉に關し残された時間は少ない
9		と答弁した。そう考えた考えならば、
10		期限を定め区長が直接交渉に臨め。
11		区長 先日直接お会いしており、
12		引き続き強い決意で交渉を進める。
13		狭あい道路解消への取組の強化
14		質問 区内では狭あい道路の後退
15		用地に自転車などが置かれる例が
16		散見される。防災上大きな問題で
17		あり、条例で支障物の設置を禁止
18		する杉並区を参考に対策を講じよ。
19		防災街づくり担当部長 条例改正を視野に
20		支障物などへの対応を検討する。

21	都立祖師谷公園の整備の加速化
22	質問 祖師谷公園は都市計画決定
23	から約70年たつが、都の整備は一
24	向に進まない。区が計画区域内の
25	生産緑地を先行取得し都に売却す
26	るなど、主体的に整備に関与せよ。
27	みどり <sup>3</sup> 推進担当部長 都に早期整備を強
28	く求め、区としても検討を深める。
29	緑の保全と創出に向けた支援拡充
30	質問 区内の緑の保全や創出には
31	区民の協力が不可欠だ。みどりの
32	トラスト基金を活用して保存樹木
33	の所有者へ奨励金を交付するなど、
34	緑化に取り組む区民を支援せよ。
35	みどり <sup>3</sup> 推進担当部長 他自治体の事例も
36	参考に支援拡充の手法を検討する。
37	バス路線維持に向けた事業者支援
38	質問 コミュニティバスは公共交通
39	通不便地域の解消に寄与し、区民
40	の生活に欠かせない存在だ。バス

41		路線を維持するため、	運転手不足
42		などに苦しむ事業者を	支援せよ。
43	副区長	運行の維持・確保に向け、	
44		具体的な支援を積極的に	検討する。
45		持続可能な介護人材確保	策の推進
46	質問	高齢者福祉の充実に向け、	
47		介護人材の確保に一層注力	すべき
48		だ。地域の福祉施設などと	連携し
49		て就労体験の機会を設ける	など、
50		持続可能な人材確保策を	講じよ。
51	高齢福祉部長	人材の確保と育成	
52		に効果的な支援を着実に	進める。
53		若者の力を生かした地域	活性化
54	質問	若者の力を地域の活性化に	
55		つなげるべきだ。児童館を	地域活
56		動の拠点に位置づけると	ともに、
57		商店街や町会などと連携	して若者
58		が地域で活躍できる場を	整えよ。
59	子ども・若者部長	若者が地域の中で	
60		活躍できる社会づくりを	進める。

61	子ども食堂への支援体制の強化
62	質問 子ども食堂は地域の支え合
63	いや多世代交流に加え、食品ロス
64	削減に資する活動だ。広く周知し
65	協力者を増やすとともに、地域福
66	社の拠点と捉え継続的に支援せよ。
67	副区長 地域の力を生かした持続
68	可能な支援体制の構築を目指す。
69	プラスチック分別収集の機運醸成
70	質問 2030年からこのプラスチック分
71	別収集の実施に向けて着実に準備
72	を進めるべきだ。分別の意義を区
73	民に周知し機運醸成を図るとも
74	に、安定した収集体制を構築せよ。
75	副区長 分別の必要性の周知や、
76	計画的な人員確保などに取り組む。
77	かかりつけ医の有用の周知啓発
78	質問 かかりつけの医師や歯科医、
79	薬局を持つことは継続的な健康管
80	理に有用だが、若年層には十分浸

81	透	し	て	い	な	い	。	区	内	三	師	会	と	連	携
82	し	重	要	性	を	積	極	的	に	周	知	啓	発	せ	よ
83		副	区	長		幅	広	い	世	代	に	伝	わ	る	よ
84		工	夫	を	重	ね	、	周	知	啓	発	に	努	め	る
85		千	歳	烏	山	駅	周	辺	ま	ち	づ	く	り	の	推
86		質	問		我	が	会	派	は	国	か	ら	先	行	取
87		し	た	土	地	を	駅	周	辺	ま	ち	づ	く	り	に
88		用	す	る	よ	う	再	三	求	め	て	き	た	。	千
89		烏	山	駅	周	辺	の	再	開	発	の	議	論	が	進
90		今	、	区	は	早	急	に	活	用	方	針	を	示	せ
91		区	長		当	該	用	地	の	段	階	的	活	用	を
92		り	駅	周	辺	の	都	市	計	画	事	業	を	進	め
93		千	歳	烏	山	駅	周	辺	の	公	共	施	設	の	集
94		質	問		千	歳	烏	山	駅	周	辺	で	は	支	所
95		区	民	セ	ン	タ	ー	な	ど	が	分	散	し	て	お
96		大	変	不	便	だ	。	区	民	の	利	便	性	を	高
97		る	た	め	、	駅	周	辺	再	開	発	を	好	機	と
98		え	て	公	共	施	設	の	集	約	化	を	実	現	せ
99		区	長		区	民	セ	ン	タ	ー	の	建	て	替	え
100		機	に	集	約	を	図	る	構	想	を	練	っ	て	い

「※」は省略表記として記載。

1	立憲民主党・無所属・愛世田谷区議団
2	中塚 さちよ
3	
4	
5	区政課題に対する区長の見解
6	質問 我が会派は現役世代や中間
7	層への施策が不十分であることを
8	再三指摘し、住宅政策や教育政策
9	について提案をしてきた。区長が
10	考える区政の重要課題とは何か。
11	区長 指摘の方々への支援は極め
12	て重要な課題だと受け止めている。
13	子育て世帯への住宅政策の強化
14	質問 都は子育て世帯への低廉な
15	住宅の供給に向け官民連携のファ
16	ンドを創設したが、供給戸数が少
17	なく区民の住宅ニーズに応えられ
18	るか疑問だ。区の見解を示せ。
19	都市整備政策部長 安心して住み続け
20	られるモデルの構築を都に求めた。

21	入札制度改革の着実な推進
22	質問 入札制度について区内事業
23	者から最低制限価格の引上げや総
24	合評価方式の見直しを求め声を
25	聞く。真摯に受け止め改善を図れ。
26	財務部長 公契約適正化委員会な
27	どの意見を踏まえ、改善を進める。
28	重度心身障害者への支援の充実
29	質問 重度心身障害者への支援が
30	不十分だ。受入施設の体制整備な
31	ど中長期的な目標を明確化し、実
32	効性のある計画を早急に示せ。
33	副区長 具体的な施策の実現に向
34	けて障害施策推進計画を策定する。
35	将来を見据えた交通政策の方針
36	質問 バス路線の廃止や減便が続
37	き、交通不便地域の拡大が懸念さ
38	れる。持続可能な地域交通の実現
39	に向け、自動運転技術の進歩など
40	を見据えた交通政策の方針を示せ。

4	1	道路・交通計画部長	全体像を示しながら
4	2	ら多様な施策を複合的に展開する。	
4	3	外国籍の子どもと保護者への支援	
4	4	質問	区では外国籍の子どもが増
4	5	えており、母国語と日本語の習得	
4	6	が不十分な子どもや日本語が話せ	
4	7	ない保護者への支援が喫緊の課題	
4	8	だ。今後どう支援していくのか。	
4	9	学校教育部長	学校生活に付随す
5	0	る様々な場面での支援を検討する。	

1		公	明	党	世	田	谷	区	議	団									
2			福	田		た	え	美											
3																			
4																			
5			物	価	高	対	策	の	更	な	る	推	進						
6			質	問		物	価	高	が	長	期	化	す	る	今	、	家		
7			計	負	担	を	減	ら	す	取	組	を	推	進	す	べ	き		
8			だ	。	せ	た	が	や	P	a	y	イ	の	ポ	イ	ン	ト	還	
9			元	率	の	上	乗	せ	や	エ	ッ	セ	ン	シ	ヤ	ル	ワ		
10			ー	カ	ー	へ	の	支	援	な	ど	を	実	施	せ	よ	。		
11			副	区	長		物	価	高	対	策	を	総	合	的	に	検		
12			討	し	早	期	の	実	施	に	全	力	で	取	り	組	む		。
13			災	害	に	備	え	た	訓	練	の	強	化						
14			質	問		区	は	、	関	係	団	体	や	協	定	事	業		
15			者	な	ど	と	連	携	し	物	資	の	配	送	訓	練	を		
16			実	施	し	た	。	訓	練	成	果	を	生	か	し	、	道		
17			路	啓	開	や	下	水	処	理	停	止	時	の	ト	イ	レ		
18			対	応	な	ど	を	含	め	た	訓	練	に	つ	な	げ	よ		。
19			危	機	管	理	監		道	路	啓	開	を	含	め	不	測		
20			の	事	態	を	想	定	し	た	訓	練	を	実	施	す	る		。

21	交流自治体との疎開事業の実施
22	質問 区外に親族や交流先のない
23	区民が増えている。避難生活が長
24	期化する災害時でも、区民が安全
25	な環境で生活を送れるよう、交流
26	自治体との疎開事業を検討せよ。
27	区長 交流自治体も含め、相互応
28	援協定の締結を更に進めていく。
29	終活登録制度の迅速な整備
30	質問 生前に終活関連情報を登録
31	し万一の際に関係機関が情報を活
32	用する終活登録制度は、区民の希
33	望と尊厳を守る基礎となる。終活
34	支援センターの開設前に整備せよ。
35	保健福祉政策部長 終活支援センター
36	の開設と並行し制度設計を進める。
37	乳がん検診における視触診の廃止
38	質問 区は乳がん検診で視触診を
39	必須としているが、抵抗を感じる
40	方も少なくない。早期発見への有

41		用性が不明で国が推奨していない
42		点も踏まえ、視触診を廃止せよ。
43	保健所長	指摘の点について、が
44		ん対策推進委員会などで検討する。
45		乳がん検診の勧奨通知の対象拡大
46	質問	区は乳がんの早期発見に向
47		け、40〜69歳を対象に乳がん検診
48		の受診券を送付している。70歳代
49		の乳がん患者が増える状況に鑑み、
50		送付対象を70歳代まで拡大せよ。
51	保健所長	国の標準仕様に基づく
52		システム導入に合わせ検討する。
53		北沢学園中の教育環境の整備
54	質問	区は不登校などの生徒が通
55		う本校型の学びの多様化学校を開
56		設する。教員が子どもたちと十分
57		に向き合える体制を整備し、生徒
58		の意欲を引き出す学習を推進せよ。
59	教育総合センター長	生徒の意欲を引き
60		出せるよう多様な学びを実施する。

61		稼	ぐ	ス	ポ	ー	ツ	拠	点	の	構	築							
62		質	問	大	蔵	運	動	場	の	再	整	備	で	は	収				
63		益	性	も	重	視	す	べ	き	だ	。	地	域	経	済	へ			
64		の	波	及	効	果	を	高	め	る	「	稼	ぐ	ス	ポ	ー			
65		ツ	拠	点	「	の	構	築	に	向	け	て	、	今	後	ど			
66		の	よ	う	に	整	備	を	進	め	て	い	く	の	か	。			
67		ス	ポ	ー	ツ	推	進	部	長	新	た	な	運	営	手	法	に		
68		挑	戦	す	る	機	会	と	し	て	検	討	を	進	め	る	。		
69		地	域	の	担	い	手	づ	く	り	の	推	進						
70		質	問	地	域	行	事	へ	の	参	加	で	せ	た	が				
71		や	P	a	y	イ	ポ	イ	ン	ト	を	付	与	す	る	事	業		
72		は	地	域	の	担	い	手	確	保	に	有	効	だ	。	担			
73		い	手	の	増	加	に	向	け	、	参	加	回	数	に	応			
74		じ	て	還	元	率	を	上	げ	る	な	ど	工	夫	せ	よ	。		
75		政	策	経	営	部	長	町	会	な	ど	の	意	見	を				
76		踏	ま	え	柔	軟	な	制	度	設	計	を	検	討	す	る	。		
77		現	役	世	代	へ	の	住	宅	支	援	の	強	化					
78		質	問	都	は	経	済	的	負	担	の	大	き	い	子				
79		育	て	世	帯	や	若	年	夫	婦	世	帯	が	低	廉	な			
80		住	宅	に	住	め	る	よ	う	、	都	営	住	宅	の	入			

81		居	条	件	の	緩	和	や	入	居	枠	の	拡	充	に	取
82		り	組	ん	で	い	る	。	区	営	住	宅	で	も	行	え
83		都	市	整	備	政	策	部	長	良	質	な	住	宅	の	供
84		に	向	け	再	編	、	整	備	の	検	討	を	進	め	る
85		交	通	不	便	地	域	の	解	消	に	向	け	た	取	組
86		質	問	交	通	不	便	地	域	に	住	む	区	民	の	
87		移	動	手	段	を	確	保	す	べ	き	だ	。	砧	・	大
88		蔵	地	区	で	実	証	運	行	し	て	い	る	デ	マ	ン
89		ド	型	交	通	の	持	続	化	を	図	る	と	と	も	に
90		他	地	域	へ	の	展	開	を	着	実	に	進	め	よ	。
91		区	長	交	通	不	便	地	域	の	解	消	は	重	要	
92		な	テ	ー	マ	で	あ	り	着	実	に	進	め	て	い	く
93		千	歳	烏	山	駅	周	辺	の	施	設	の	集	約	化	
94		質	問	区	民	サ	ー	ビ	ス	の	一	元	化	と	行	
95		政	の	効	率	化	に	向	け	、	公	共	施	設	を	集
96		約	す	べ	き	だ	。	ま	ず	は	烏	山	区	民	セ	ン
97		タ	ー	の	改	築	を	機	に	、	千	歳	烏	山	駅	周
98		辺	に	点	在	す	る	施	設	の	集	約	化	を	図	れ
99		区	長	公	共	施	設	の	分	散	を	解	消	す	べ	
100		く	、	集	約	や	再	編	の	検	討	に	着	手	す	る

1	無	所	属	・	世	田	谷	行	革	110	番
2		田	中		優	子					
3											
4											
5		区	長	宅	の	違	法	建	築	疑	惑
6		質	問	区	長	は	自	宅	改	築	時
7		で	隣	地	を	借	り	た	と	言	う
8		は	な	く	、	接	道	義	務	を	満
9		り	た	こ	と	に	し	た	と	思	わ
10		指	導	事	務	所	は	適	法	と	判
11		区	長	専	門	家	に	相	談	し	、
12		を	多	摩	建	築	指	導	事	務	所
13		区	長	宅	の	完	了	検	査	に	係
14		質	問	完	了	検	査	は	建	築	基
15		定	さ	れ	て	い	る	義	務	で	あ
16		は	検	査	合	格	後	に	交	付	さ
17		済	証	「	が	な	い	が	検	査	を
18		区	長	建	築	当	時	の	こ	と	に
19		設	計	事	務	所	や	専	門	家	に
20		区	長	宅	の	敷	地	面	積	に	対

21	質	問	区	長	宅	の	改	築	時	の	資	料	を	見
22	る	と	建	て	替	え	前	の	台	帳	記	載	事	項
23	明	と	建	て	替	え	後	の	不	動	産	登	記	で
24	地	面	積	が	異	な	る	。	そ	の	理	由	を	示
25	区	長	借	用	し	て	い	た	土	地	を	返	却	し
26	た	た	め	、	面	積	に	違	い	が	生	じ	て	い
27	議	会	軽	視	を	繰	り	返	す	保	坂	区	政	
28	質	問	区	は	マ	ン	シ	ョ	ン	防	災	事	業	の
29	延	長	に	つ	い	て	予	算	案	を	議	決	す	る
30	に	区	民	に	周	知	す	る	な	ど	、	議	会	の
31	頼	を	損	な	う	行	為	を	繰	り	返	し	て	い
32	議	会	を	軽	視	す	る	姿	勢	を	即	刻	改	め
33	副	区	長	指	摘	を	重	く	受	け	止	め	、	議
34	会	へ	の	説	明	責	任	を	徹	底	し	て	い	く
35	拙	速	な	空	襲	被	害	者	支	援	の	見	直	し
36	質	問	区	民	の	要	望	や	十	分	な	議	論	も
37	な	く	空	襲	被	害	者	に	見	舞	金	を	支	給
38	る	の	は	拙	速	だ	。	ま	ず	は	区	長	会	で
39	援	策	づ	く	り	を	提	案	し	議	論	を	深	め
40	べ	き	で	あ	る	点	か	ら	も	事	業	を	見	直

41	障	害	福	祉	部	長	区	長	会	で	区	の	取	組
42	を	紹	介	す	る	な	ど	し	て	働	き	か	け	る
43	実	効	性	が	な	い	住	宅	施	策	の	見	直	し
44	質	問	区	は	子	育	て	世	帯	や	若	年	夫	婦
45	世	帯	の	定	住	促	進	に	向	け	て	区	内	で
46	を	購	入	す	る	場	合	に	30	万	円	を	助	成
47	る	方	針	を	示	し	た	が	、	実	効	的	と	は
48	底	思	え	な	い	愚	策	だ	。実	施	を	見	送	れ
49	都	市	整	備	政	策	部	長	ア	ン	ケ	ー	ト	結
50	踏	ま	え	支	援	が	必	要	だ	と	考	え	て	い

1		日	本	共	産	党	世	田	谷	区	議	団
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												

21	補聴器購入費助成の対象拡大を
22	質問 補聴器は難聴者の生活の質
23	を高めるが、高額で利用を諦める
24	方も多い。必要な方が利用できる
25	よう、補聴器購入費助成の所得制
26	限を撤廃するなど対象拡大を図れ。
27	副区長 高齢者ニーズ調査の結果
28	などを基に制度の在り方を考える。
29	包括管理業務委託の適正な運用を
30	質問 区は学校施設で包括管理業
31	務委託を始め。実施に際しては、
32	公契約条例を踏まえた区内事業者
33	の活用や適正な労働条件の確保を
34	受託者に遵守させる仕組みとせよ。
35	教育政策・生涯学習部長 モニタリングや弁
36	護士などによる監査を実施する。
37	外環道工事と地盤沈下の因果関係
38	質問 外環道地下工事上部の野川
39	に隣接する地域で地盤沈下が発生
40	した。因果関係が明らかになるま

41	で	外環	事業	者に	工事	中止	を	求め	よ。
42	副	区長	状	況	把握	に	努	め	る
43	に	、	事業	者	へ	適	切	な	対
44	代	田	一	丁	目	都	営	住	宅
45	質	問	代	田	一	丁	目	都	営
46	に	伴	い	生	じ	る	跡	地	を
47	き	だ	。	活	用	に	際	し	て
48	声	を	反	映	す	る	よ	う	都
49	政	策	経	営	部	長	地	域	や
50	の	行	政	需	要	を	確	認	し
									都
									へ
									要
									望
									す
									る
									。



1		おぎのけんじ
2	(自民)	
3		
4	多摩川河川敷内への歩道の整備	
5	質問 二子玉川駅以南の多摩堤通	
6	りは路側帯が狭く危険な状態だ。	
7	12年度の等々力大橋の開通を好機	
8	と捉え、区主導で河川敷内へサイ	
9	クリングロードと歩道を整備せよ。	
10	答弁 河川敷内における区が担う	
11	役割について庁内で議論を進める。	
12	女子サッカーの合同部の創設	
13	質問 女子サッカー部が中学校に	
14	ないため、競技をやめる児童は多	
15	い。希望者が競技を継続できるよ	
16	う、地域クラブなどと連携し、地	
17	域移行型の合同部活動を創設せよ。	
18	答弁 生徒の希望に沿えるよう部	
19	活動地域移行の方針を改定する。	
20	学校改築時の校庭機能の確保	





21	質問	就業を希望するシニア世代
22	が多様な働き方を選択できる世田	
23	谷を實現すべきだ。高齢者の雇用	
24	促進に向け、区内事業者への働き	
25	かけや直接的な支援に取り組め。	
26	答弁	採用への理解促進や環境整
27	備につながる働きかけを行う。	

1			河	野															
2			(	自		民	)												
3																			
4			イ	ン	ク	ル	ー	シ	ブ	教	育	の	実	現					
5			質	問		イ	ン	ク	ル	ー	シ	ブ	教	育	の	実	現		
6			に	は	家	庭	や	地	域	の	協	力	が	不	可	欠	だ		
7			が	、	P	T	A	や	ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	な	ど	に		
8			負	担	が	集	中	し	て	は	な	ら	な	い	。	役	割		
9			を	整	理	し	持	続	可	能	な	体	制	を	つ	く	れ		
10			答	弁		正	確	な	情	報	を	発	信	し	て	家	庭		
11			や	地	域	を	つ	な	ぐ	取	組	を	進	め	る	。			
12			若	者	の	主	体	的	な	地	域	活	動	の	促	進			
13			質	問		三	軒	茶	屋	に	整	備	す	る	青	少	年		
14			交	流	セ	ン	タ	ー	は	地	域	や	商	店	街	の	協		
15			力	の	下	、	若	者	が	主	体	的	に	挑	戦	で	き		
16			る	場	と	す	べ	き	だ	。	若	者	や	地	域	の	声		
17			を	踏	ま	え	な	が	ら	運	営	体	制	を	整	え	よ		
18			答	弁		若	者	が	自	ら	の	発	想	な	ど	を	元		
19			に	地	域	と	連	携	で	き	る	よ	う	取	り	組	む		
20			若	者	の	主	体	的	な	活	動	の	見	え	る	化			



1		坂	口	賢	一													
2		(	自	民	)													
3																		
4		姉	妹	都	市	交	流	の	区	民	周	知	の	強	化			
5		質	問	姉	妹	都	市	交	流	の	発	展	に	向	け			
6		ウ	ィ	ニ	ペ	グ	市	を	は	じ	め	と	す	る	各	都		
7		市	に	区	民	が	関	心	を	抱	く	よ	う	周	知	を		
8		強	化	す	べ	き	だ	。	都	市	の	歴	史	や	魅	力		
9		な	ど	を	学	べ	る	企	画	展	を	実	施	せ	よ	。		
10		答	弁	様	々	な	機	会	を	生	か	し	、	各	都			
11		市	の	魅	力	な	ど	の	周	知	に	取	り	組	む	。		
12		チ	ー	ム	担	任	制	に	対	す	る	児	童	の	反	応		
13		質	問	複	数	の	教	員	で	学	級	を	受	け	持			
14		っ	チ	ー	ム	担	任	制	は	教	員	の	負	担	軽	減		
15		に	有	効	だ	が	、	児	童	と	の	関	係	が	薄	れ		
16		る	懸	念	も	あ	る	。	試	行	中	の	各	校	の	児		
17		童	や	保	護	者	は	ど	う	感	じ	て	い	る	の	か		
18		答	弁	相	談	し	や	す	い	先	生	を	選	べ	て			
19		よ	い	な	ど	、	肯	定	的	な	感	想	が	多	い	。		
20		町	な	か	の	落	書	き	へ	の	対	策	強	化				

																																									21
																																									22
																																									23
																																									24
																																									25
																																									26
																																									27

1		佐藤正幸
2	(自民)	
3		
4	区内企業の海外展開への支援	
5	質問 区内には国内有数の義足メ	
6	ーカーなど世界的な競争力を有す	
7	る企業が存在する。区は区内大使	
8	館との定期的な情報交換などを通	
9	じて海外への販路拡大を支援せよ。	
10	答弁 海外展開の関連経費に活用	
11	可能な補助制度の周知に努める。	
12	台湾高雄市との友好交流協定締結	
13	質問 区が文化交流に関する覚書	
14	を結ぶ台湾高雄市との関係を一層	
15	強化すべきだ。2026年3月の覚書更	
16	新を機に、経済交流や災害時協力	
17	も含む友好交流協定を締結せよ。	
18	答弁 将来的な友好交流協定の締	
19	結も視野に入れ、関係を深める。	
20	終活支援センターでの空き家対策	



1		畠山晋一																		
2		(自民)																		
3																				
4		在宅療養患者への支援の取組方針																		
5		質問 都は医師会と連携し在宅療																		
6		養患者への24時間診療を行う在宅																		
7		医療推進強化事業を実施している。																		
8		8年度から区へ事業が移管される																		
9		と聞くが、今後の取組方針を示せ。																		
10		答弁 世田谷・玉川両医師会と連																		
11		携し在宅医療体制の構築を進める。																		
12		在宅医療推進強化事業の予算措置																		
13		質問 在宅医療推進強化事業の継																		
14		続に当たっては人件費やシステム																		
15		の維持に多大な費用を要すため医																		
16		師会への財政支援は不可欠だ。予																		
17		算規模をどう想定しているのか。																		
18		答弁 都と同額の予算規模で事業																		
19		が継続できるよう調整している。																		
20		分かりやすい行政文書への改善																		

	質	問	区	が	発	信	す	る	文	書	は	難	し	い	2 1	
	内	容	や	表	現	が	多	く、	区	民	に	優	し	い	2 2	
	文	書	と	は	言	え	な	い。	ま	ず	は	知	的	障	2 3	
	害	の	あ	る	方	に	向	け	た	文	書	か	ら	改	善	2 4
	す	べ	き	と	考	え	る	が、	見	解	を	示	せ	。	2 5	
	答	弁	分	か	り	や	す	い	文	書	へ	の	改	善	2 6	
	に	向	け	て	可	能	な	も	の	か	ら	取	り	組	む	2 7

1		山口	ひろ	ひさ														
2		（自	民	）														
3																		
4		せ	た	が	や	便	利	帳	の	電	子	化	の	推	進			
5		質	問	せ	た	が	や	便	利	帳	は	区	の	行	政			
6		サ	ー	ビ	ス	な	ど	の	情	報	が	一	冊	に	ま	と		
7		ま	っ	て	お	り	大	変	便	利	だ	。	区	民	が	い		
8		っ	で	も	利	用	で	き	る	よ	う	、	広	報	紙	ア		
9		プ	リ	へ	の	掲	載	な	ど	電	子	化	を	進	め	よ	。	
10		答	弁	ア	プ	リ	へ	の	掲	載	を	検	討	し	、			
11		区	民	サ	ー	ビ	ス	の	向	上	に	取	り	組	む	。		
12		民	間	空	襲	被	害	者	支	援	に	対	す	る	疑	義		
13		質	問	区	が	提	案	予	定	の	民	間	空	襲	被			
14		害	者	へ	の	見	舞	金	支	給	は	本	来	国	が	行		
15		う	べ	き	事	業	だ	。	国	の	行	動	を	促	す	狙		
16		い	な	ら	ば	、	区	長	は	ま	ず	特	別	区	長	会		
17		な	ど	で	事	業	の	意	義	を	周	知	せ	よ	。			
18		答	弁	被	害	者	支	援	な	ど	の	取	組	が	他			
19		自	治	体	に	広	がる	よ	う	働	き	か	け	る	。			
20		多	摩	川	河	川	敷	の	舗	装	整	備						

21

質問

狛江市などの近隣自治体で

22

は多摩川河川敷の舗装が完了し、

23

良好な歩行環境が整う一方、区内

24

での整備は一向に進展がない。今

25

後どのようになり整備に取り組むのか。

26

答弁 河川管理者である国などと

27

協働し整備に向け対策を検討する。

1	オルズグル
2	(立無愛)
3	
4	産業活性化拠点の運営状況の把握
5	質問 産業活性化拠点「ホームワ
6	ークビレッジ」の健全な運営に向
7	け、来場者数や収益などの状況を
8	十分把握すべきだ。運営事業者か
9	ら毎月報告を受けける体制を整えよ。
10	答弁 定期的な連絡会などで状況
11	把握に努め、事業改善に取り組む。
12	ホームワークビレッジの環境改善
13	質問 ホームワークビレッジは空
14	調設備の設置が不十分であるなど、
15	誰もが利用しやすい環境とは言
16	ない。子育て世帯や高齢者など多
17	様な層を包摂できるよう改善せよ。
18	答弁 快適に利用いただけるよう、
19	運営事業者と環境改善を検討する。
20	産業交流に係る事業成果の可視化

21	質問	多様な人々が集い地域課題
22	の	解決が期待できる産業創造プラ
23	ット	フォーラムでの事業成果を可視
24	化し、	参加者増を図るべきだ。事
25	業	成果を金銭的に評価し公開せよ。
26	答弁	地域経済の持続可能な発展
27	を	目指す会議での検証対象とする。

1			桜井																	
2			(立無愛)																	
3																				
4			全区立校へのエレベーターの設置																	
5			質問	インクルーシブ教育の実現																
6			には、	配慮を要する子どもが安心して																
7			して	過ごせる学校環境の整備が肝																
8			要だ。	この視点で全区立校へのエ																
9			レベーター	ター設置を早急に進めよ。																
10			答弁	子どももの入学前から設置の																
11			検討	を行なうなど柔軟な対応を図る。																
12			世田谷	清掃工場建て替えの周知																
13			質問	世田谷清掃工場は	2026	年	2	月												
14			からの	建て替える工事に伴い、ごみ																
15			の	搬入を停止する。ごみ収集への																
16			影響	などを不安視する区民の声を																
17			受け	止め、丁寧な周知に努めよ。																
18			答弁	イベントなどの様々な機会																
19			を	活用して周知の強化を検討する。																
20			複	合的な課題に対する重層的支援																

21	質問	複合的な課題を抱え子育て
22	に悩む家庭を確実に支援につなぐ	
23	べきだ。福祉緊急対応の特別支援	
24	チームの活用など、従来の枠組み	
25	を超えた重層的支援体制を整えよ。	
26	答弁	重層的支援により誰一人取り残さない世田谷の実現を目指す。
27		

	1	原	田																			
	2	（	立	無	愛	）																
	3																					
	4	姉	妹	都	市	交	流	の	更	なる	発	展										
	5	質	問			ウ	イ	ニ	ペ	グ	市	と	の	姉	妹	都	市					
	6	交	流	の	発	展	に	向	け	、	区	民	に	交	流	の						
	7	意	義	や	価	値	を	積	極	的	に	発	信	す	べ	き						
	8	だ	。	頂	い	た	記	念	品	や	学	生	派	遣	の	記						
	9	録	な	ど	交	流	の	財	産	を	広	く	公	開	せ	よ	。					
	10	答	弁		記	念	品	の	活	用	も	含	め	区	民	の						
	11	関	心	が	高	ま	る	よ	う	周	知	を	充	実	す	る	。					
	12	高	齢	者	の	タ	ク	シ	ー	利	用	へ	の	支	援							
	13	質	問		配	車	ア	プ	リ	の	普	及	が	進	み	、						
	14	ス	マ	ホ	操	作	に	不	慣	れ	な	高	齢	者	な	ど						
	15	は	タ	ク	シ	ー	を	利	用	し	づ	ら	い	状	況	だ	。					
	16	公	共	施	設	で	配	車	を	手	伝	う	な	ど	、	移						
	17	動	手	段	を	確	保	で	き	る	よ	う	支	援	せ	よ	。					
	18	答	弁		安	心	し	て	利	用	で	き	る	よ	う	関						
	19	係	所	管	で	連	携	し	た	取	組	を	検	討	す	る	。					
	20	公	共	交	通	政	策	の	今	後	の	展	開									



1		み	や		か	お	り													
2		(	立	無	愛	)														
3																				
4		教	育	現	場	に	お	け	る	人	権	の	尊	重						
5		質	問	学	校	現	場	で	子	ど	も	が	教	員	へ					
6		暴	力	を	振	る	う	事	案	が	増	え	て	い	る	。				
7		子	ど	も	の	人	権	を	尊	重	し	つ	つ	教	員	の				
8		人	権	を	守	る	こ	と	も	重	要	と	考	え	る	が	、			
9		区	は	ど	の	よ	う	に	指	導	し	て	い	く	の	か	。			
10		答	弁	教	職	員	が	一	体	と	な	り	子	ど	も					
11		自	身	が	改	善	し	て	い	く	こ	と	を	支	え	る	。			
12		学	校	運	営	の	健	全	化	に	向	け	た	取	組					
13		質	問	教	員	の	離	職	や	精	神	疾	患	に	伴					
14		う	休	職	が	増	え	て	お	り	対	策	は	急	務	だ	。			
15		学	校	運	営	の	健	全	化	に	向	け	、	若	手	教				
16		員	の	育	成	に	注	力	す	る	と	と	も	に	教	員				
17		が	悩	み	を	相	談	で	き	る	体	制	を	整	え	よ	。			
18		答	弁	悩	み	を	早	期	に	相	談	で	き	る	環					
19		境	を	整	え	る	な	ど	取	組	を	進	め	て	い	る	。			
20		保	護	者	に	よ	る	過	剰	な	要	求	へ	の	対	応				



1		岡	本	の	ぶ	子														
2		(	公	明	)															
3																				
4		国	内	資	源	循	環	に	よ	る	脱	炭	素	の	実	現				
5		質	問	持	続	可	能	な	航	空	燃	料	「	S	A <sup>サ</sup>					
6		F <sub>フ</sub>	「	の	原	料	と	な	る	廃	食	用	油	の	提	供				
7		を	通	じ	た	「	F <sub>フ</sub>	r <sub>ラ</sub>	y <sub>イ</sub>		t <sub>ト</sub>	o <sub>ウ</sub>		F <sub>フ</sub>	l <sub>ラ</sub>	y <sub>イ</sub>				
8		P <sub>プ</sub>	r <sub>ハ</sub>	o <sub>オ</sub>	j <sub>ジ</sub>	e <sub>エ</sub>	c <sub>ク</sub>	t <sub>ト</sub>	「	が	注	目	さ	れ	て	い				
9		る	。	区	も	積	極	的	に	参	画	せ	よ	。						
10		答	弁	詳	細	な	参	加	条	件	な	ど	の	情	報					
11		収	集	を	行	い	つ	つ	、	検	討	を	進	め	る	。				
12		※	F <sub>フ</sub>	A <sub>ア</sub>	M <sub>ミ</sub>	S <sub>サ</sub>	P <sub>ポ</sub>	事	業	の	援	助	会	員	の	確	保			
13		質	問	子	育	て	家	庭	の	育	児	や	家	事	を					
14		手	助	け	す	る	F <sub>フ</sub>	A <sub>ア</sub>	M <sub>ミ</sub>	S <sub>サ</sub>	ポ	事	業	の	援	助				
15		会	員	の	確	保	に	向	け	、	都	の	補	助	事	業				
16		を	活	用	し	援	助	会	員	の	報	酬	を	上	乗	せ				
17		す	べ	き	だ	。	実	施	時	期	を	明	確	に	示	せ	。			
18		答	弁	8	年	度	中	の	実	施	に	向	け	、	課					
19		題	整	理	な	ど	引	き	続	き	検	討	を	進	め	る	。			
20		危	険	な	ブ	ロ	ッ	ク	堀	の	除	却								

「※」は省略表記として記載。



1			津上		仁志														
2			(		公		明	)											
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			

																					質問		2 1
																					目黒区では豪雨による浸水		
																					被害を防ぐため、止水板の設置助		2 2
																					成制度を大幅に拡大した。区民の		2 3
																					財産を守るため、都の補助金を活		2 4
																					用し区も同等の制度を創設せよ。		2 5
																					答弁		2 6
																					近隣自治体との均衡も考慮		
																					し財政状況を踏まえ検討している。		2 7

1		平塚	けいじ																	
2		(公	明)																	
3																				
4		エコ	住宅	補助	金の	拡充														
5		質問	脱炭	素社	会の	実現	に	向	け	、										
6		エコ	住宅	補助	金を	拡充	す	べ	き	だ	。									
7		薄型	太陽	光パ	ネル	など	を	補	助	対	象									
8		に	加	え	る	と	も	に	、	区	民	が	確	実	に					
9		利	用	で	き	る	十	分	な	予	算	を	確	保	せ	よ	。			
10		答	弁	対	象	拡	大	の	検	討	や	予	算	切	れ					
11		を	防	ぐ	た	め	の	制	度	改	善	に	取	り	組	む	。			
12		子	育	て	世	代	や	シ	ニ	ア	層	の	就	労	支	援				
13		質	問	柔	軟	な	働	き	方	を	希	望	す	る	子					
14		育	て	世	代	や	シ	ニ	ア	層	の	就	労	を	支	援				
15		す	べ	き	だ	。	民	間	事	業	者	と	連	携	し	、				
16		短	時	間	勤	務	な	ど	を	導	入	す	る	区	内	企				
17		業	の	情	報	を	広	く	区	民	に	発	信	せ	よ	。				
18		答	弁	情	報	発	信	を	充	実	し	、	区	民	の					
19		多	様	な	働	き	方	の	実	現	を	支	援	す	る	。				
20		災	害	時	の	口	腔	ケ	ア	の	重	要	性							

21	質問	避難所生活で歯磨きなどが
22	十分行えないと誤 <sub>こ</sub> 嚥 <sub>えん</sub> 性肺炎のリス	
23	クが高齢者では特に高まる。災害	
24	関連死を防ぐために、 <sup>こ</sup> 口腔 <sup>く</sup> ケア	
25	の重要性を区民へ強く啓発せよ。	
26	答弁	
27	具体的な実施方法を周知する。	

1		大	庭	正	明															
2		(	F	行	革	)														
3																				
4		区	長	の	自	宅	問	題	に	ま	つ	わ	る	疑	惑					
5		質	問	区	長	は	自	宅	改	築	時	に	隣	地	を					
6		借	り	た	と	言	う	が	公	的	な	証	拠	は	な	く				
7		事	実	を	確	認	す	る	た	め	当	該	地	の	地	主				
8		を	訪	ね	る	と	区	長	の	弁	護	士	を	案	内	さ				
9		れ	た	。	地	主	に	圧	力	を	か	け	た	の	か	。				
10		答	弁	区	政	に	直	接	関	係	な	い	こ	と	に					
11		関	し	て	答	え	る	の	は	適	切	で	は	な	い	。				
12		説	明	か	ら	逃	げ	る	区	長	の	姿	勢							
13		質	問	区	長	は	自	宅	改	築	時	の	土	地	の					
14		借	用	に	係	る	我	が	会	派	の	質	疑	に	矛	盾				
15		す	る	答	弁	や	主	観	に	と	ど	ま	る	答	弁	を				
16		繰	り	返	し	て	お	り	、	疑	念	が	深	ま	る	ば				
17		か	り	だ	。	逃	げ	ず	に	事	実	を	証	明	せ	よ	。			
18		答	弁	先	代	の	地	主	の	厚	意	で	無	料	で					
19		提	供	し	て	も	ら	つ	た	こ	と	は	事	実	だ	。				
20		区	長	宅	改	築	時	の	隣	地	の	借	用	期	間					



1		ひえしま	進																
2		(F行革)																	
3																			
4		空襲被害者見舞金支給に反対																	
5		質問	国会での法案成立の後押し																
6		を理由にし、区税を使った見舞金																	
7		支給を進める区長の姿勢には反対																	
8		だ。そもそも区民からの要望がな																	
9		い中で実施する必要があるのか。																	
10		答弁	区の取組を発信し、法案制																
11		定を後押しできればと考えている。																	
12		外国人解体業者へ指導を徹底せよ																	
13		質問	区内で外国人業者が仮囲い																
14		などを設置せずに解体工事を行う																	
15		事案が発生した。周辺住民の不安																	
16		の声を踏まえ、ルールを守らない																	
17		外国人業者への指導を徹底せよ。																	
18		答弁	パトロールでの指導に加え、																
19		分かりやすい啓発方法を検討する。																	
20		デマ対策と「言論の自由」の確保																	



1	坂本みえこ
2	(共産)
3	
4	ごみの収集作業員の熱中症対策
5	質問 ごみの収集は猛暑でも立ち
6	止まることなく作業するため非常
7	に過酷であり、区内でも複数名の
8	職員が熱中症で搬送されたと聞く。
9	人員増など抜本的な対策を講じよ。
10	答弁 多面的な熱中症予防を推進
11	し、職員の安全管理に努める。
12	区立保育園への事務職員の配置
13	質問 過去の議会で保育士の負担
14	軽減に向け区立保育園への事務職
15	員の配置を求めたのに対し、区は
16	業務改善を図ると答えましたが、遅々
17	ととして進まない。配置に踏み切れ。
18	答弁 園長会やコンサルタントな
19	どと業務改善の検討を進めている。
20	学校での包括的性教育の推進

																						21	
																					質問	子ども・若者は、学校でも	
																						22	
																						家庭でも性の問題を十分に学ばず、	
																						23	
																						不確かな情報の渦の中に放置され	
																						24	
																						ている。小学生の段階から成長に	
																						25	
																						応じた包括的教育を実施せよ。	
																						26	
																						答弁	発達段階に応じた包括的性
																						27	
																						教育の充実に向けて研究を進める。	

1	た	か	じ	よ	う	訓	子													
2	(	共	産	)																
3																				
4	コ	ミ	ユ	ニ	テ	イ	バ	ス	の	減	便	対	策							
5	質	問	区	は	住	民	の	生	活	に	不	可	欠	な						
6	コ	ミ	ユ	ニ	テ	イ	バ	ス	の	減	便	対	策	と	し					
7	て	運	転	手	の	確	保	や	離	職	防	止	に	向	け					
8	た	支	援	を	行	う	方	針	を	示	し	た	。	具	体					
9	的	に	ど	の	よ	う	な	支	援	を	講	じ	る	の	か	。				
10	答	弁	運	転	手	の	魅	力	の	P	R	な	ど	運						
11	行	維	持	に	資	す	る	支	援	策	を	検	討	す	る	。				
12	物	価	高	騰	を	踏	ま	え	た	就	学	援	助							
13	質	問	物	価	高	騰	の	影	響	で	教	育	費	関						
14	連	の	保	護	者	負	担	が	増	し	て	い	る	。	子					
15	ど	も	の	学	び	の	機	会	が	経	済	的	事	情	で					
16	損	な	わ	れ	な	い	よ	う	、	就	学	援	助	費	を					
17	物	価	高	騰	に	即	し	た	支	給	額	に	見	直	せ	。				
18	答	弁	保	護	者	負	担	の	実	態	な	ど	を	注						
19	視	し	な	が	ら	適	切	に	対	応	し	て	い	く	。					
20	区	立	図	書	館	の	運	営	方	針	へ	の	疑	義						



1		石原	せいじ																			
2		(	国	都	民	)																
3																						
4		ス	タ	ン	プ	ラ	リ	ー	への	参	加	促	進	策								
5		質	問	区	は	せ	た	が	や	P	a	y	イ	を	活	用						
6		し	て	下	北	沢	の	飲	食	店	な	ど	を	巡	る	デ						
7		ジ	タ	ル	ス	タ	ン	プ	ラ	リ	ー	を	実	施	し	、						
8		新	規	利	用	の	促	進	や	周	遊	性	の	向	上	に						
9		つ	な	げ	た	。	今	後	の	展	開	を	示	せ	。							
10		答	弁	子	育	て	世	帯	な	ど	多	様	な	層	が							
11		参	加	し	や	す	い	企	画	の	検	討	に	努	め	る	。					
12		余	剰	・	規	格	外	野	菜	の	更	な	る	活	用							
13		質	問	区	は	区	内	農	産	物	ー	せ	た	が	や							
14		そ	だ	ち	ー	の	余	剰	品	や	規	格	外	品	を	学						
15		校	給	食	に	活	用	す	る	取	組	を	始	め	た	。						
16		地	域	で	の	販	売	な	ど	更	な	る	活	用	を	進						
17		め	地	域	と	農	家	の	つ	な	が	り	を	深	め	よ	。					
18		答	弁	取	組	の	周	知	と	と	も	に	地	域	展							
19		開	な	ど	に	向	け	調	査	・	研	究	を	進	め	る	。					
20		安	心	し	て	相	談	で	き	る	環	境	づ	く	り							

	21	質	問	子	ど	も	の	自	殺	者	数	は	増	加	傾		
	22	向	に	あ	り	対	策	は	急	務	だ	。	児	童	館	な	
	23	ど	の	家	庭	や	学	校	以	外	の	居	場	所	で	、	
	24	子	ど	も	が	日	頃	の	関	わ	り	の	中	で	安	心	
	25	し	て	相	談	で	き	る	環	境	を	構	築	せ	よ	。	
	26	答	弁	地	域	の	中	で	安	心	し	て	育	つ	こ		
	27	と	が	で	き	る	環	境	づ	く	り	を	推	進	す	る	。

1			佐藤美樹
2		(国都民)	
3			
4		農業と教育が連携した取組の推進	
5		質問 千歳台の農園では不登校傾向	
6		向の子どもが地域の方々と一緒に	
7		農作業を行ってゐる。子どもも居	
8		場所づくりや農業の魅力発信の意	
9		義を踏まえ、活動の場を拡充せよ。	
10		答弁 農業公園の福祉的、教育的	
11		な活用などに向けて検討を進める。	
12		離婚後の親権に係る法改正の周知	
13		質問 共同親権の導入など離婚後	
14		の親権に係る法改正を、区民が正	
15		しく理解解することが必要だ。子ども	
16		もの権利を守るという法改正の趣	
17		旨を踏まえ、周知啓発に注力せよ。	
18		答弁 子どものも最善の利益を確保	
19		するため取組を推進していく。	
20		A I を活用した子どもも自殺対策	

21	質	問	中	高	生	の	自	殺	対	策	に	A	I	を
22	活	用	す	べ	き	だ	。	区	が	貸	与	す	る	タ
23	レ	ッ	ト	端	末	で	自	殺	関	連	の	単	語	が
24	わ	れ	た	際	に	A	I	の	チ	ャ	ット	相	談	に
25	誘	導	す	る	な	ど	の	仕	組	み	を	検	討	せ
26	答	弁	対	応	策	に	つ	い	て	技	術	の	動	向
27	や	他	自	治	体	の	事	例	な	ど	を	研	究	す











21	質	問	入	院	時	の	支	援	で	は	、	退	院	後
22	に	必	要	な	医	療	・	介	護	サ	ー	ビ	ス	ま
23	考	慮	す	る	こ	と	が	重	要	だ	。	(	仮	称
24	終	活	支	援	セ	ン	タ	ー	で	は	、	生	活	再
25	を	含	め	た	退	院	支	援	も	追	加	せ	よ	。
26	答	弁	円	滑	に	在	宅	生	活	へ	移	行	で	き
27	る	よ	う	関	係	機	関	と	連	携	し	支	援	す
														る
														。





1		ひ	う	ち		優	子													
2																				
3																				
4																				
5																				
6																				
7																				
8																				
9																				
10																				
11																				
12																				
13																				
14																				
15																				
16																				
17																				
18																				
19																				
20																				

																						21
																						質問
																						災害時に倒壊した電柱が緊
																						急車両の妨げとならないよう、道
																						幅が狭い生活道路などへの無電柱
																						化の推進を区に再三求めてきた。
																						進捗状況と今後の見通しを示せ。
																						答弁
																						6年度末時点で約14.1kmが完
																						了し、今後も着実に整備を進める。
																						27

1	神	尾	り	さ															
2		(	国	際	)														
3																			
4		ご	み	削	減	の	た	め	の	環	境	学	習	の	充	実			
5		質	問	環	境	に	配	慮	し	た	持	続	可	能	な				
6		社	会	の	実	現	に	は	子	ど	も	の	意	識	醸	成			
7		が	不	可	欠	だ	。	ご	み	削	減	へ	の	自	発	的			
8		な	行	動	が	広	が	る	よ	う	、	発	達	段	階	に			
9		応	じ	た	体	験	学	習	の	機	会	を	充	実	せ	よ	。		
10		答	弁	保	育	園	で	の	体	感	的	な	環	境	学				
11		習	を	広	く	展	開	す	る	こ	と	を	検	討	す	る	。		
12		区	内	で	の	交	流	自	治	体	の	魅	力	の	発	信			
13		質	問	川	場	村	な	ど	の	交	流	自	治	体	と				
14		の	関	係	を	一	層	深	め	る	た	め	、	区	民	に			
15		各	自	治	体	の	魅	力	を	発	信	す	べ	き	だ	。			
16		交	流	先	の	特	産	品	を	公	共	施	設	で	販	売			
17		す	る	な	ど	工	夫	を	凝	ら	し	て	取	り	組	め	。		
18		答	弁	新	庁	舎	に	入	る	コ	ン	ピ	ニ	で	販				
19		売	す	る	な	ど	、	魅	力	発	信	に	努	め	る	。			
20		子	育	て	家	庭	へ	の	切	れ	目	な	い	支	援				



1		つるみけんご
2	(	風)
3		
4	窓	口混雑の解消に対する区の矛盾
5	質問	区長は招集挨拶で待合スペース
6	ースを	拡充し、待ち時間の利便性
7	向上を	目指すと表明した。「待ち時
8	間の解	消」の約束を反故にする発
9	言とも	取れるが、区の姿勢を示せ。
10	答弁	窓口混雑の緩和や待ち時間
11	の縮減	を目指し各種取組を進める。
12	児童	生徒の暴力行為の未然防止を
13	質問	学校における子どもへの暴力
14	行為が	増加していることが国の調
15	査で判	明した。児童生徒が楽しく
16	通える	環境を守るため、原因を分
17	析し予	防的アプローチを構築せよ。
18	答弁	関係機関と連携し、予防的
19	アプロ	ーチの構築に向け取り組む。
20	高齢者	の居場所問題への基本姿勢







1				若	林																				
2				(	維																				
3																									
4				A	I																				
5				質	問																				
6				散	す																				
7				見	抜																				
8				I	リ																				
9				体	系																				
10				答	弁																				
11				体	系																				
12				産	後																				
13				質	問																				
14				に	つ																				
15				が	必																				
16				2	週																				
17				把	握																				
18				答	弁																				
19				要	と																				
20				熊	出																				

21	質	問	熊	に	よ	る	被	害	が	全	国	で	多	発
22	し	て	お	り	、	区	内	に	も	出	没	す	る	可
23	性	が	あ	る	と	聞	く	。	区	は	熊	を	は	じ
24	と	す	る	大	型	獣	類	の	出	没	に	備	え	、
25	の	よ	う	な	体	制	を	整	え	て	い	る	の	か
26	答	弁	都	や	警	察	な	ど	の	連	携	や	危	
27	機	管	理	の	連	絡	体	制	を	確	認	し	て	い
														る
														。







1																					
2																				請	
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					
15																					
16																					
17																					
18																					
19																					
20																					





21	っ	て	い	る	こ	と	、	ま	た	翌	週	行	わ	れ	る
22	補	充	質	疑	に	お	い	て	も	区	長	本	人	に	対
23	し	、	同	様	の	質	疑	が	再	び	繰	り	返	さ	れ
24	る	こ	と	に	つ	い	て	懸	念	を	示	す	態	度	を
25	明	確	に	示	し	た	。								
26	複	数	の	会	派	に	対	し	て	同	様	な	行	動	
27	を	起	こ	し	て	い	る	こ	と	は	、	羽	田	圭	二
28	副	議	長	自	ら	も	発	言	さ	れ	て	お	り	、	こ
29	の	よ	う	な	一	連	の	行	為	は	、	水	面	下	で
30	議	員	の	質	問	権	や	発	言	権	を	制	限	、	封
31	殺	す	る	も	の	で	あ	る	と	断	言	せ	ざ	る	を
32	得	な	い	。	「開	か	れ	た	議	会	を	皆	さ	ん	と
33	一	緒	に	前	進	さ	せ	る	」	と	の	就	任	時	の
34	表	明	と	は	言	行	不	一	致	の	振	る	舞	い	で
35	あ	り	、	公	平	か	つ	中	立	な	立	場	で	あ	る
36	副	議	長	と	し	て	あ	る	ま	じ	き	行	為	で	あ
37	る	。													
38	今	般	の	羽	田	圭	二	副	議	長	の	不	適	切	
39	な	言	動	は	、	自	由	闊	達	な	議	論	を	自	負
40	し	て	い	る	世	田	谷	区	議	会	に	お	い	て	信





1	会派等の構成と名称の変更	
2	おぎのけんじ議員が、	12月5日
3	付で新たに「世田谷刷新の会」を	
4	結成しました。また、「無所属・	
5	世田谷行革	10番
6	で会派名を「改革無所属の会」に	
7	変更しました。	
8	この結果、区議会の会派等の構	
9	成は次のとおりになりました。	
10	自由民主党世田谷区議団	13人
11	立憲民主党・無所属・愛世田谷区議団	8人
12	公明党世田谷区議団	8人
13	改革無所属の会	4人
14	日本共産党世田谷区議団	4人
15	国民民主党・都民ファーストの会	3人
16	生活者ネットワーク世田谷区議団	2人
17	レインボー世田谷	1人
18	世田谷無所属	1人
19	世田谷刷新の会	1人
20	国際都市せたがや	1人

7年4定 会派等の構成と名称の変更 1/2





## 議会日誌

### 閉会中に開催された委員会

- 11月4日（火） 議運
- 7日（金） 懲罰
- 10日（月） 企画、区民、文教
- 11日（火） 福祉、都市
- 12日（水） 企画、DX推進、災害防犯、子ども、環境清掃
- 17日（月） 議運、懲罰

### 会期中の主な会議日程

- 11月26日（水） 本会議（代表質問など）、企画、議運
- 27日（木） 本会議（代表質問、一般質問、議案の付託）、企画、議運
- 28日（金） 本会議（一般質問、議案の議決、議案の付託、請願の付託）、議運
- 12月1日（月） 企画、区民、文教
- 2日（火） 福祉、都市
- 3日（水） DX推進、災害防犯、子ども、環境清掃
- 5日（金） 本会議（議案の議決、請願の付託など）、議運

### 委員会名称

企画＝企画総務常任委員会 区民＝区民生活常任委員会  
福祉＝福祉保健常任委員会 都市＝都市整備常任委員会  
文教＝文教常任委員会 議運＝議会運営委員会  
DX推進＝DX・地域行政・公共施設整備等推進特別委員会  
災害防犯＝災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会  
子ども＝子ども・若者施策推進特別委員会  
環境清掃＝環境・清掃・リサイクル対策等特別委員会  
懲罰＝懲罰特別委員会

